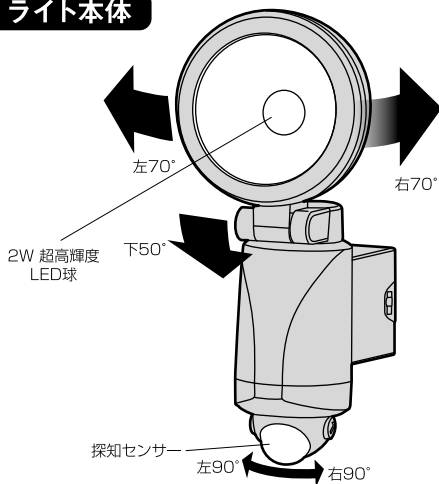
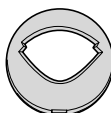
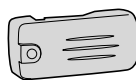
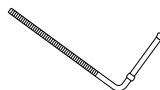
# 乾電池式 2W LEDセンサーライト 取扱説明書

この度は、**乾電池式 2W LEDセンサーライト** をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの「**取扱説明書**」をよくお読みになり、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

**注　意**　気温・気圧等の気象条件の変化によりセンサーがまれに誤作動することがありますが、故障ではありません。時間をおいて再度ご確認ください。

電池残量が少なくなればライトが暗くなり、点滅する場合や点灯しないことがあります。またダイヤルをOFFに切り替えても点滅し続ける場合がございます。ライトが点灯しなかったり点滅した場合は、電池交換を行ってください。

## 1. 部位説明

# 2. 仕 様

| ライト本体 | | |
|---|---|---|
| ライト | 種類 | 2W LED球（寿命約2万時間） |
| 使用乾電池 | | 単2アルカリ乾電池4本（別売） |
| 消費電流 | | 点灯時：600mA |
| センサー | 探知方式 | 焦電型赤外線センサー |
| | 探知範囲 | 水平 約100～180°・最長約8m |
| 点灯ツマミ | | 昼／夜 |
| 時間ツマミ | | OFF・約5秒点灯・約20秒点灯・約20秒点滅 |
| 本体サイズ | | 幅95mm×奥137mm×高さ240mm（クランプ除く） |
| 重　量 | | 約320g（クランプ・乾電池除く） |
| クランプ取付けサイズ | | ・厚み／最小約15mm～最大約100mm |
| | | ・パイプ径／最小約30mm～最大約85mm |
| 電池寿命 | | 1日10回約20秒間点灯した場合約5ヶ月（約150日） |
| 設置場所 | | 屋内、屋外用（防雨タイプ） |

# 3. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止する為に、必ずお守りいただきたいことを説明しています。安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。 |
| ⚠ 注意 | 「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。 |

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。(下記は絵表示の一例です)

| | |
|---|---|
|  | このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。 |
|  | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
|  | このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |

## 警告

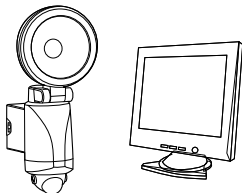
ご使用や設置について

### 本体は大量の水がかかる場所に設置しない

禁 止

通常の雨、風には耐えますが、防水タイプではありません。※防雨構造はIP44電気機械器具の保護等級について許可を受けた規格です。
故障の原因になります。

### 家電製品の近くで使わない

禁 止

テレビ、ラジオ、電子レンジ、蛍光灯、電話、ファックス、パソコン、OA機器や家電製品から2m以上離してください。
故障、誤動作の原因になります。

### 屋内・屋外に関係なく斜め向き、下向き、逆さまに取り付けない

禁 止

故障の原因になります。

### 付属品を使用する

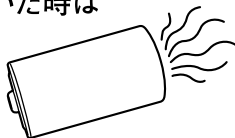
必ず付属品で取付けてください。

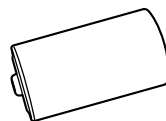
落下、故障の原因になります。

### 引火性溶剤は使わない

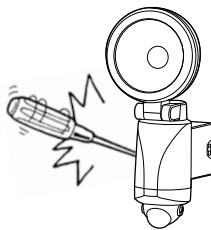
禁 止

清掃のときは、水で濡らせた布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナー等の引火性溶剤は使用しないでください。火災、感電の原因になります。

## 乾電池の異臭、発熱、変形に気が付いた時は

電源をOFFにして（株）プロトにご連絡ください。

## 乾電池を交換の時は

濡れた手や、本体が濡れた状態での、乾電池の交換はしないでください。交換の際は、必ずスイッチをOFFにした状態でお取替えください。
感電、故障の原因になります。

## 分解や改造をしない

分解禁止

修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

火災、感電、故障の原因になります。

## 燃えやすい物の近くに取付けない

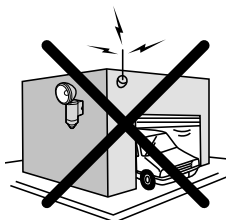
禁　止

布や紙など燃えやすい物や引火しやすい物の近くには絶対に取付けないでください。昼でも本体に物（布団や布等）を被せると点灯し引火する危険があるので絶対にしないでください。
火災の原因になります。

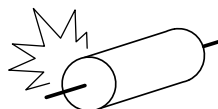
# ⚠注意

ご使用や設置について

## 電波を出す器具の近くに取付けない

禁　止

故障、誤動作の原因になります。

## モーターや磁場を発生させる装置の近くに置かない

禁　止

故障の原因になります。

※本機は探知範囲内に侵入する物（人、車等）に対して、注意を促しますが、盗難犯罪が発生しても一切の責任は負いません。
※製品改良のため、仕様及び外観は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

# 4. センサーの探知範囲

## ■センサーは、最長約8m×180°の範囲で動く人や車を探知します。

※センサーに向かって左右に横切った場合は敏感に反応しますが、センサーに向かって直進した場合は、極端に探知が鈍くなります。図1、図2の条件に合う場所に取付けてください。

※夏場の周囲の温度が高く、人からでる体温との差が小さい場合は、探知が鈍くなり、ときには探知しない場合があります。

・取付け高さが2.5mの場合の探知範囲です。
・取付け高さは最高3mまでです。
・取付け高さを1.5mにすると探知範囲は、図の約半分になります。

### エリアマスクの取付け

エリアマスク図と同じ位置でセンサーの周囲の溝に差し込みます。

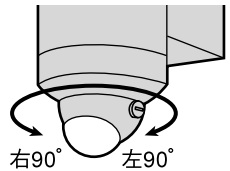
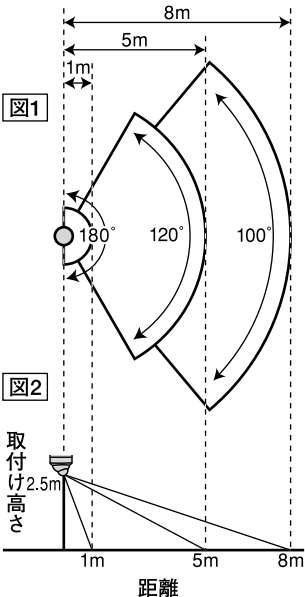
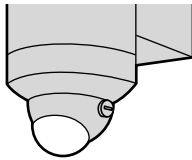
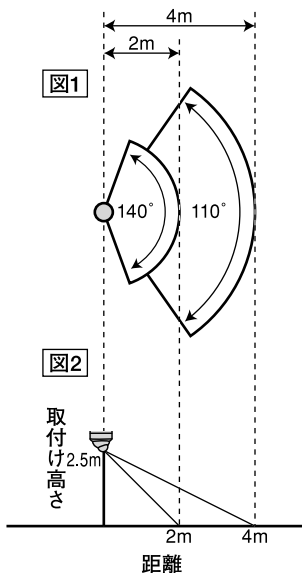
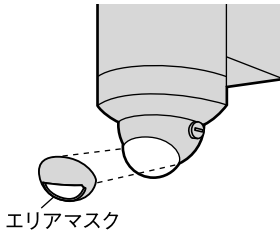
| エリアマスクなしの場合 | エリアマスク使用時 |
| --- | --- |
| 探知範囲<br>約100～180° 最長約8m | 探知範囲<br>約110～140° 最長約4m |

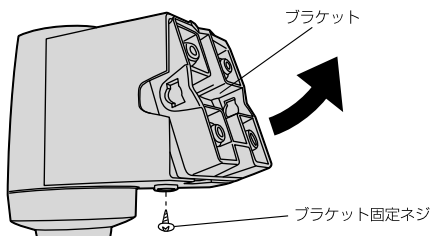
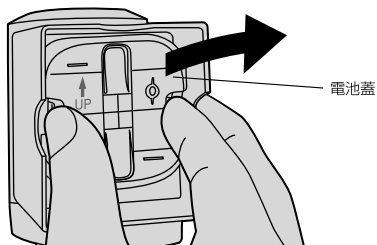
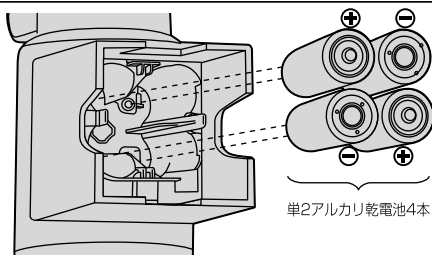
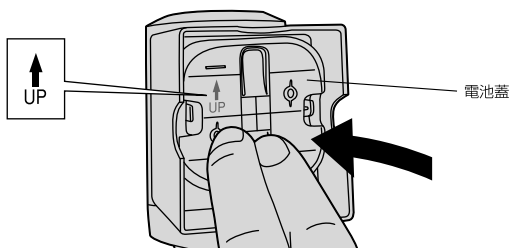
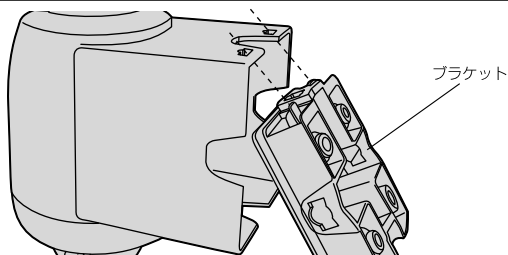
エリアマスク

8m
5m
1m
図1
180°
120°
100°
図2
取付け高さ 2.5m
1m 5m 8m
距離

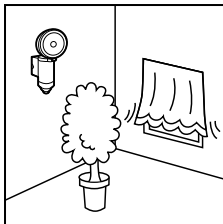
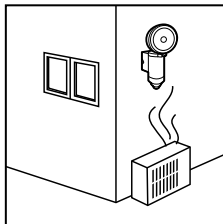
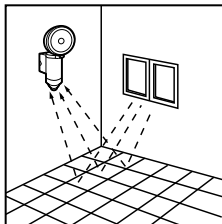
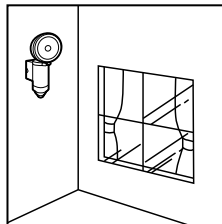
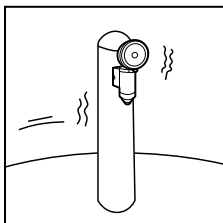
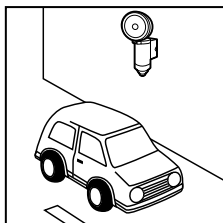
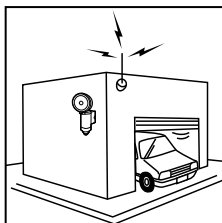
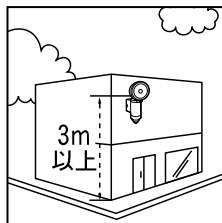
4m
2m
図1
140°
110°
図2
取付け高さ 2.5m
2m 4m
距離

### センサー左右角度調整

探知したい方向にセンサーを向けます。

# 5. 電池の入れ方

①ブラケット固定ネジをゆるめ、ブラケットを外します。

②電池蓋の2個爪を指で内側に押し電池蓋を外します。

③単2アルカリ乾電池4本を入れます。
※プラスマイナスの向きを間違わないように注意

④電池蓋のUPマーク通りの上向きにして押し込みます。

⑤ブラケットを本体に差込みブラケット固定ネジで固定します。

# 6. ライト本体の取付け方

## ライト本体の取付け注意!

センサーは、周囲の明るさと温度変化に探知するので、図のような場所に取付けると、
誤動作や作動しないときがあります。

風などでゆれる植物や
カーテン等の近く

エアコン等の送風を
受ける場所

大理石の床や壁等の
光の反射を強く受ける場所

ガラスや壁ごしの場所

強い振動を受ける場所

車の通る道路に面した場所

電波の強い場所

取付け高さが3m以上の場所

## ブラケットで壁に直接の取付け方

①

ブラケット固定ネジを外し、
ブラケットを開き外します。

②

ブラケット2個の穴の薄皮をドライバー等で突き差し薄皮を破ります。ケガをしないように床に置いて行ってください。

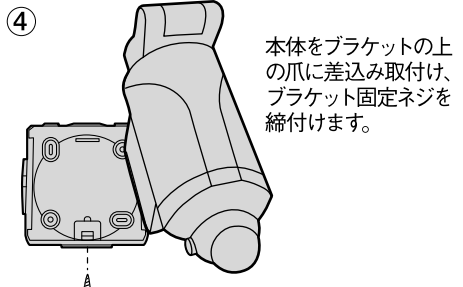
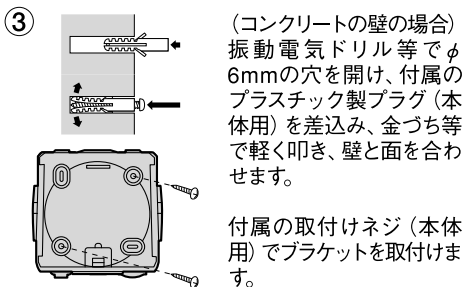
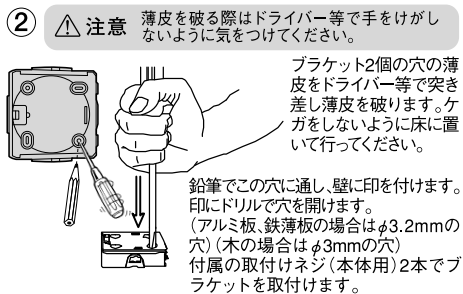
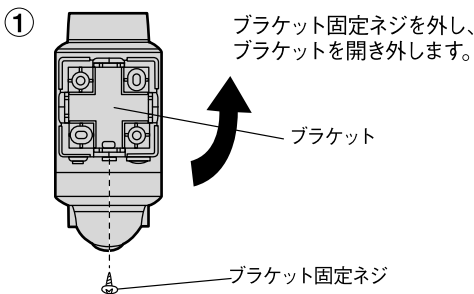
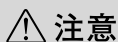
鉛筆でこの穴に通し、壁に印を付けます。
印にドリルで穴を開けます。
(アルミ板、鉄薄板の場合は$\phi$3.2mmの穴)(木の場合は$\phi$3mmの穴)
付属の取付けネジ(本体用)2本でブラケットを取付けます。

③

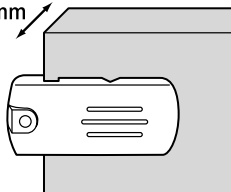
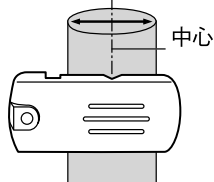
(コンクリートの壁の場合)
振動電気ドリル等で$\phi$6mmの穴を開け、付属のプラスチック製プラグ(本体用)を差込み、金づち等で軽く叩き、壁と面を合わせます。

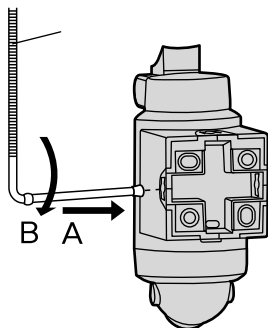
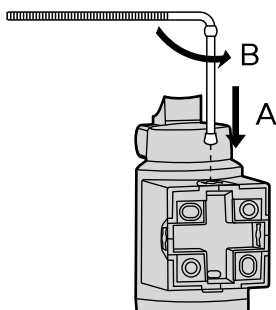
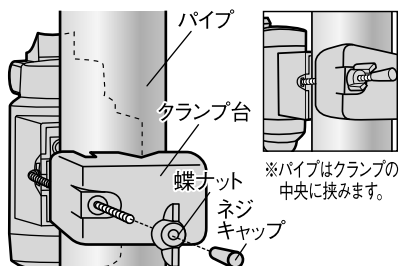
付属の取付けネジ(本体用)でブラケットを取付けます。

④

本体をブラケットの上の爪に差込み取付け、ブラケット固定ネジを締付けます。

## クランプで挟む取付け方

**⚠注意** クランプでの取付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。

角柱・壁は奥までしっかりと入れて、挟み込んでください。

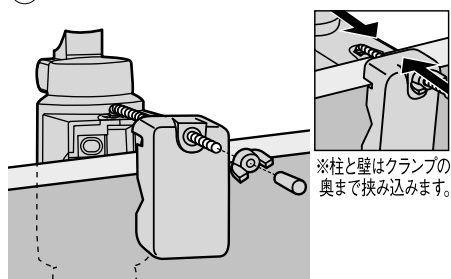
丸柱・パイプは大きさに合わせて挟む位置を替えてください。

### 上向きの柱、パイプの場合

① ● L型ボルトをAの向きに差込み、Bの向きに90゜回します。

②

● L型ボルトのネジキャップを取り、柱、パイプの間で、クランプ台を穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。

### 横向きの柱、パイプの場合

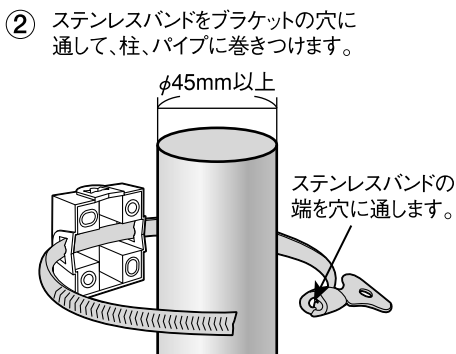
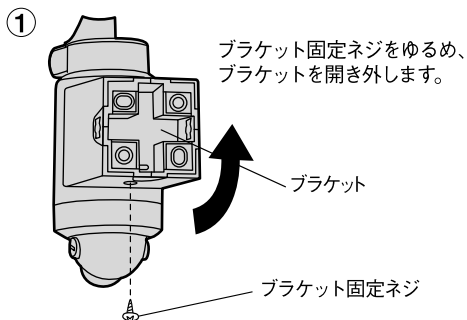
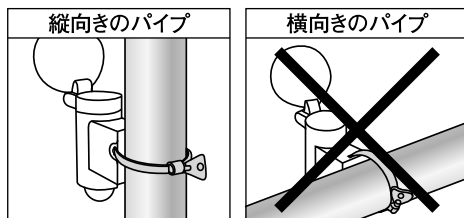
① ● L型ボルトをAの向きに差込み、Bの向きに90゜回します。

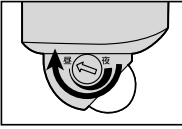
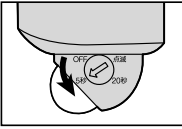
②

● L型ボルトのネジキャップを取り、柱、パイプの間で、クランプ台を穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。

# 7. 市販のステンレスバンドでの取付け方

・市販のステンレスバンド幅10mmまで使用できます。
・市販のステンレスバンドを使用しての本機の破損や落下等の事故の保証はありません。

⚠注意
・ステンレスバンドでの取付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。
・ステンレスバンドを使用する柱には傷がつく場合があります。

## ライト本体

## 8. センサーの動作テスト

- 点灯ツマミを昼側に回す。
- 時間ツマミを5秒側に回す。

点灯ツマミ

時間ツマミ

ウォーミングアップ
約30秒間点灯

ウォーミングアップ中にセンサー探知範囲から出る。もしくは探知しないようにセンサーを黒い布等で覆い、消灯するまで待つ。

点灯 ▶ 消灯

ウォーミングアップ終了

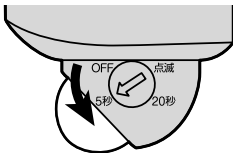
センサーを探知させる為に探知範囲に入ってすぐに出る。もしくは布を取って反応させてすぐにかぶせる。

点灯 ▶ 消灯

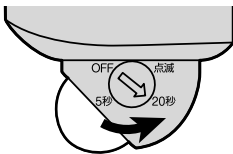
約5秒後に消灯

## 9. センサーをお好みのモードに調節

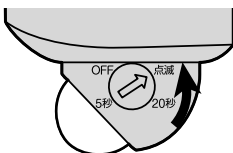
### 1.時間ツマミ（点灯時間の調節）

**5秒 に調節**

センサー探知  約5秒間点灯  消灯

※ “5秒”で使用の場合でも、点灯中に再度探知した場合、点灯時間が延長されます。

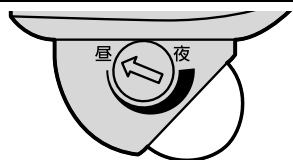
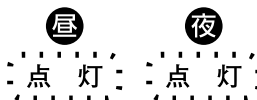
**20秒 に調節**

センサー探知  約20秒間点灯  消灯

※ “20秒”で使用の場合でも、点灯中に再度探知した場合、点灯時間が延長されます。

**点滅（20秒）に調節**

センサー探知  約20秒間点滅  消灯

※ “点滅”で使用の場合でも、点灯中に再度探知した場合、点滅時間が延長されます。

### 2.点灯ツマミ（点灯させる周りの明るさ調節）

**昼 に調節**

昼、夜の明るさに関係なく、いつでもセンサーの探知範囲に入ると点灯

センサーの探知範囲から人がいなくなると設定した時間後に消灯

人がいなくなると

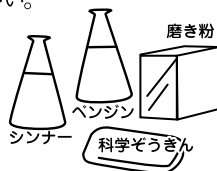
消 灯

**夜 に調節**

※夜でも、他の照明の光で、周りが明るい時は、センサーは昼と認識する為、センサーは探知しません。点灯ツマミを"昼"に調節してください。

## 10. お手入れの仕方

本体は中性洗剤をふくませた布で拭いた後、乾いた柔らかい布で中性洗剤が残らないよう、よく拭きとります。

シンナー・ベンジン・磨き粉・アルカリ性洗剤・化学ぞうきんは変色や傷の原因となるため、お使いにならないでください。

本体の取付けネジやクランプは、年に1～2回ゆるみやガタつきがないか点検してください。

一年に
1～2回

# 11.故障かなと思ったら

| 現　象 | 考えられる原因 | 処　置 |
| --- | --- | --- |
| **点灯しない**<br>探知範囲内に人がいるのに点灯しない | 電池が入っていない。 | 電池を入れる。 |
| | スイッチがOFFになっている。 | スイッチをONにする。 |
| | 探知範囲の設定が適切でない。 | 探知範囲を調節する。（センサー探知させたい方向に向ける） |
| | センサーに向かって直進している。 | 本機に向かって直進した場合、探知が鈍くなります。 |
| | センサーレンズが汚れている。 | 探知部（センサーレンズ）をやわらかい布で傷が付かないように拭きとる。 |
| | 蒸気や雨などの水滴がついている。<br>寒冷地などで顔がマフラーで覆われている。<br>手袋をしている。 | 本センサーは人の動きによる温度変化分を探知するため、左記のような状況では探知しにくい場合があります。 |
| | 電池寿命 | 新しい単2アルカリ乾電池に交換する。 |
| **点灯しない**<br>周囲が暗いのに探知範囲に人がいても点灯しない | 探知部に他の照明器具の光が入っている。 | 点灯切替スイッチを 昼 にする。<br>または、他の照明器具の光が入らない場所に設置する。 |
| **消灯しない** | 探知範囲内に人がいる。 | 探知範囲外に移動する。 |
| **昼なのに点灯する** | 点灯ツマミが 昼 になっている。 | 点灯ツマミを 夜 にする。 |
| **探知範囲に人がいないのに点灯する** | 探知範囲内に誤動作源がある<br>（例）<br>・他の照明器具・エアコンの吹出口<br>・犬や猫などが動いている。<br>・風などでよくゆれる物<br>（看板、旗、植物等）<br>・車の熱やヘッドライト<br>・強いノイズ（無線ノイズ等） | 誤動作源を取り除く<br>（左記に該当する物があれば取り除くか本体を移動する） |
| **探知範囲に人がいるのに消灯する** | 時間ツマミが 5秒 になっている。 | 時間ツマミを 20秒 にする。 |
| | 探知範囲内で人が静止している。 | 本センサーは静止している人は性能上探知できません。 |
| **探知距離が短い** | センサーレンズが汚れている。 | 探知部（センサーレンズ）をやわらかい布で傷が付かないように拭きとる。 |
| | センサー方向がずれている。 | センサーを探知させたい方向に向ける。 |
| **点灯回数が少なくなった** | 電池寿命 | 新しい単2アルカリ乾電池に交換する。 |

## 12.サイズ

本　体